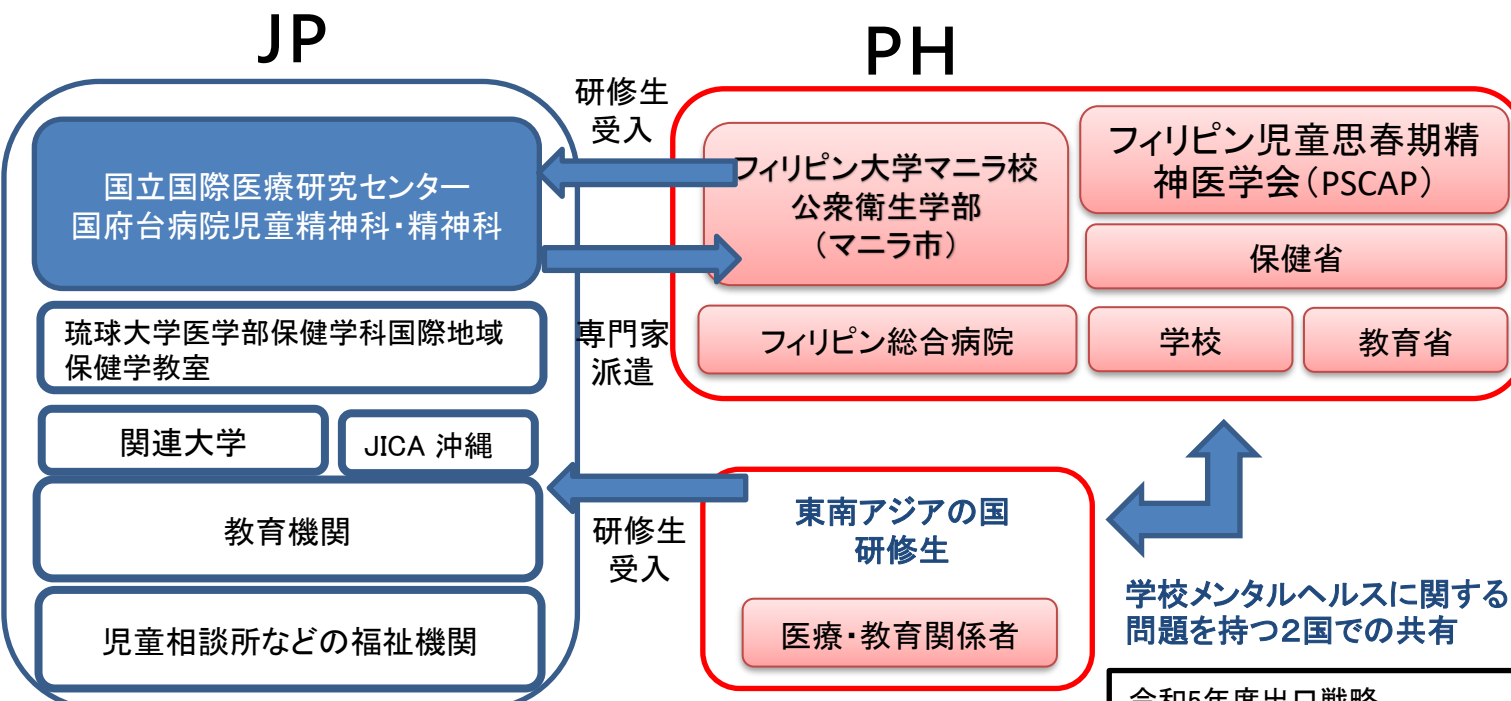


フィリピン共和国におけるポストコロナ時代の学校メンタルヘルス強化プロジェクト

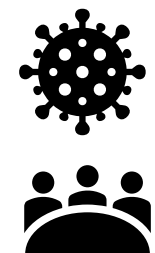
- フィリピンの子どもの16%が何らかの精神疾患を抱えている一方でCOVID-19の影響からフィリピンは全く対面授業の再開のめどが立たないこと、外出規制も厳しく日本よりもさらに心理的ストレスの問題が大きいことが想定される。また、東南アジア諸国も同様の状況にあり、他国から研修生も含めた多国間での議論を実施して、ポストコロナ時代の学校メンタルヘルスの出口戦略を考えたい。
- NCGM国府台病院、NCNP、琉球大学がフィリピン大学マニラ校などと共に、これまで実施してきた児童思春期特有な精神疾患の診断技術、薬物療法、心理社会的治療に関する研修を踏まえて、COVID-19の感染拡大状況下における児童思春期精神疾患のケア、対策全般に関する研修会を、PSCAP会員(精神科医)、関係機関スタッフ(看護、心理士、ワーカー、研究者など)、及び教育関係者(教師など)を対象に開催する。
- 令和2、3、4年度のWebコンテンツの利用とその充実から、PSCAPおよび教育省と連携したオンデマンド学習(教育省もしくは保健省経由で教育関係、福祉関係、医療関係スタッフを対象)を促すこと、フィリピン国内における学校メンタルヘルスの向上と、子どものメンタルヘルスへの早期介入の増加が期待される。



<研修スケジュール予定>

具体的な知識の向上

- 令和5年度 研修生受入(10名)
- ・総括とフィリピンの子どものメンタルヘルスに関するフォーラム開催(フィリピン) (9月)
 - ・学会との連携によるCOVID-19関連のセミナー開催(日本) (11月)
 - ・日本・アジアにおける学校保健強化の経験のシェアとそれに基づくミーティング(マニラ) (2月末)



持続可能な知識習得機会の確保

- 令和5年度
オンライン上で研修動画をアップして、オンデマンドで学習できるシステムの構築



体系化された知識の拡散

学校メンタルヘルスに関する問題を持つ2国での共有

- 令和5年度出口戦略
3国間での研修による裨益効果強化のために論文化(フィリピン研修生を筆頭著者に)子どものメンタルヘルスの向上に向けたスクールメンタルヘルスに関する政策提案



* 研修の裨益効果強化のために各年日本人専門家派遣を行う。